



もっと もっと
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は
「向井ひろあきブログ」
「町 HP 町長の部屋」で
発信中 ⇨



清流だより

第20号

令和7年5月1日発行

発行責任者: 向井ひろあき後援会 木村左右和

連絡先: 南木曽町読書2740の2 電話 0264(57)2475



国交省松原上下水道審議官に県内町村長と要望
(審議官のお父さんは南木曽の出身)



地元選出後藤茂之代議士に要望



木曽郡町村会長として大畑県議と
長野県病院機構本田理事長に要望



佐藤長久手市長に
木協の皆さんとPR活動



小栗中津川市長と
古谷圭司代議士(東濃選出)に
要望



郡内町村長と
青山林野庁長官を表敬訪問



厚労省に
県境医療システムの要望



近代化遺産活用連絡協議会 春日井大会

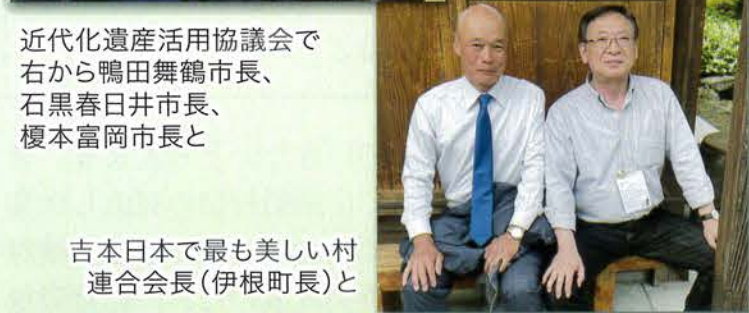
近代化遺産活用協議会で
右から鴨田舞鶴市長、
石黒春日井市長、
榎本富岡市長と



河村たかし名古屋市長と
(撮影当時)



中部地方整備局長へ要望(木曽川・砂防・国道)



吉本日本で最も美しい村
連合会長(伊根町長)と



消防団歳末夜景巡視



令和6年度南木曽町表彰式

町表彰式で



町の未来について中学生と意見交換



梨子沢蛇抜け災害から10年の追悼行事



田立大橋の開通式で山岸県会議長・
新田長野県建設部長らと



中学女子バレー部県大会出場への激励に



日本遺産PRイベントで
木曽踊りを披露

街並みの大会に
パネリストとして参加



小学生木工コンクール表彰式で

【引き続き子育て支援・定住化等を重点】

給食費無償化など新施策を展開



何度も雪かきに追われ寒い日が続いた冬ですが、3月4月は一気に暖くなり今年も春本番を迎えました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。日頃は後援会活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。人口減少に負けない活気あふれる町づくりを目指して後援会活動も進めていきますので、ご意見・ご提案などあれば気軽に本人または役員にお願いします。

令和7年 春

後援会長 木村左右和



令和7年度がスタートしました。コロナ以降10人台に落ち込んでいる出生数を回復させ、1人でも多くの移住定住を促して人口減少に歯止めをかけて、町に活気を取り戻せるように引き続き子育て支援や移住定住推進策を重点的に取り組んでいくほか、人口減少によって生じている現実的な

課題への対応も加速化させていきます。

3月議会で示した施政方針や新たに始まる第11次総合計画をもとに各種施策が展開されていきますが、7年度実施予定の主な事業は下表の通りです。参考に願います。

《令和7年度の主な事業や新規事業、検討中の取り組みから》

- ・小中学校給食費無償化
- ・小学校入学祝い品で標準カバンを支給
- ・こども家庭センターの設置
- ・子ども医療費レセプト代無償化
- ・出産健診等の旅費助成制度
- ・放課後子ども教室の運営
- ・子育て給付金、未満児保育料の見直し
- ・育休退園制度の見直し
- ・木製大型遊具の設置
- ・中学校部活の地域移行への取組
- ・コロナワクチン、带状疱疹ワクチン補助（年齢制限あり）
- ・田立宅造事業の販売
- ・ユアアイ住宅の建設
- ・サテライトオフィス、空家借上げ住宅入居者の募集
- ・創業支援補助金、事業承継者補助金の創設
- ・奨学金返済支援制度の見直し
- ・共同農業機械購入補助金の創設
- ・圃場耕作条件改善事業
- ・鳥獣対策、猟友会支援
- ・地蔵沢、桂川、戦沢、与川砂防工事、256号漆畑改良工事、木曽川右岸道路高瀬橋架替工事、柿其大桑堺トンネル工事、川向田立区間の路線決定、中津川南木曽線工事（いずれも県事業）
- ・町道妻籠町中線美装化工事、与川線改良工事、天白川向線防災工事、蘭広瀬線舗装工事
- ・町内各種公共施設のあり方検討作業の開始
- ・デイサービスの浴槽改修
- ・路線バスの再編（19号路線の増便や市民病院線開設）
- ・広域観光の推進
- ・観光振興計画の策定
- ・ご神木曳行イベント（6/6天白公園）
- ・木曽川下流域や大学との交流連携
- ・ふるさと納税の推進
- ・クラウドファンディングの活用
- ・区運営での負担軽減策
- ・観協、チャレンジクラブ、健康マラソン、ツツジ祭りなどへの協力支援
- などなど

◎**交通体系（路線バス）の再編** 運転手の不足と高齢化により地域交通の維持に厳しさが増えています。町では地形的な事情から全町的に均一な交通サービスの提供が難しい事情がある中で、深刻な運転手不足からスクールバスも含めたバスダイヤの確保に苦慮する状況となっています。そんな中、郡全体で運行体系の再編計画を検討した結果、国道19号を幹線とする路線の増便や市民病院線が予定されることになりました。今後とも交通弱者対策や人材確保も含めた取り組みについて協議を重ねていきます。

◎**子育て支援・教育の拡充** 各種子育て・教育への支援により子育てしやすい環境整備に努める一方で、ひとクラス当たりの子ども数が減っている現状も見据えた議論が必要となってきました。小学校・中学校のあり方や施設の活用方法

などを様々な観点での研究を始めたいと考えます。また未満児の保育料については子育て応援給付金の見直し作業の中で検討すると共に、育休退園の制度についても審議検討してもらう事としました。経済的負担軽減のために給食費無償化・入学祝い品の拡充・子ども医療費完全無償化（レセプト代補助）などの新規施策も行われます。

◎**地域介護のあり方** 木曽あすなろ荘の受け入れ停止案が発表され審議が進められていますが、町としてはイザという事態に対応できるよう様々な形を想定しながら準備を進めることとし、役場内に検討部会を設けました。広域連合や木曽全体での意見調整も踏まえながら、運営母体の松塩筑木曽老人福祉施設組合と話し合いを鋭意進めていきます。

【後記】 記録的な大雪の年かと思えば、大規模な山火事が全国的に発生したり、先が見えないほどの黄砂が飛んできたりと地球環境が気になっている方も多いと思います。「地球沸騰時代」とも言われる気候変動に無関心ではいけない時代となりました。「もっと南木曽を元気に」するために後援会も応援していきます。皆様のご健勝をお祈りすると共に引き続き後援会へのご支援をお願い致します。（事務局）

***後援会加入希望は、お近くの役員又は事務局まで。**